

カトリック河原町教会だより

2017年8月

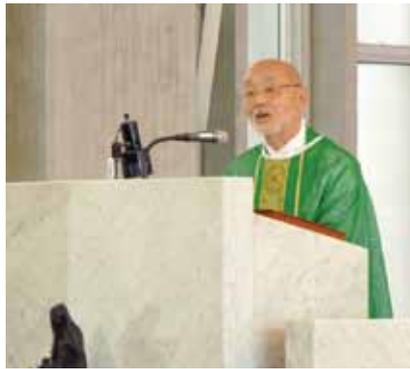
ペトロ 国本静三神父 司祭叙階50周年金祝感謝ミサ
神父様 おめでとうございます



7月9日(日)10時半から京都教区司祭で、当教会出身の国本静三神父の司祭叙階50周年金祝感謝ミサが、大塚司教と国本神父の共同司式で捧げられました。

国本神父は現在東京在住で、教会音楽を通して宣教司牧に力を注いでおられます。ミサは厳かに、恵みのうちに執り行われ、皆で心を合わせて感謝と讃美と祈りを捧げました。

ミサ後は、ヴィリオンホールで国本神父を囲み、楽しく和やかな分かち合いのひと時を過ごすことができました。



写真提供: 京都教区広報委員会

国本静三神父 略歴

- 1940年 京都生まれ(父は友禅作家)
- 1960年 上智大学哲学科卒
- 1967年 京都教区司祭叙階
- 1968年 上智大学神学科卒
- 1969年 エリザベト音楽大学作曲専攻1カ年修了
- 1970年 東京音楽大学作曲専攻編入学
- 1972年 同大学卒
- 1974年 同大学研究科作曲専攻修了
- 1979年 中央大学・上智大学で教え始める
- 1989年 ローマ教皇庁音楽院研修(~90年)

国本静三神父 ミサ説教から

司祭叙階から50年、金祝を迎え心から感謝しております。私は高校2年生の時に、音楽の道に進もうと決め受験勉強を始めました。その頃にモーツァルトのミサ曲を知りましたが、よく理解できないので、まずキリスト教を学びたいと高校3年の9月に教会の門をくぐりました。当時、丸山神父の入門講座に通いました。そして12月にはすでに司祭になりたいと思いはじめ、丸山神父にその思いを告げ、相談したのです。洗礼を受けて3年経てば神学校に行くことができることを知った私は、上智大学で学ぶ道を選びました。

ところが、叙階前の神学部3年生の時に某神父から「あなたは音楽をやいなさい」と言われ、エリザベト音楽大学で音楽の勉強を始めることになりました。続いて、東京音楽大学での学びを経て、中央大学や上智大学で教鞭をとり始めました。

2008年には胆管癌の手術を受けましたが、現在も病院に通う生活を続けています。この、自ら体験した病者の心を生かし善用して、「病者訪問」も続けてい

ます。

さて、私は山手線に乗ることが多いのですが、車内で泣いている赤ちゃんを私があやすと、ピタッと泣き止ませることができるのですよ。目を見て微笑むと、赤ちゃんは不思議に黙る。また、電車の中で病气らしい方を見かけたときは、その方のために「どうかよくなりますように」と祈ります。電車も祈りの場であり、それも大切な司祭職のひとつです。他界した人のためにも祈ります。そして、今日は皆さんのために祈ります。

パウロは、「私は、朽ちない栄光の冠をめざして走り続ける」と言っています。イエスは「求め続けなさい」と何度も語りました。継続は力です。私たちは世界中の人のために祈りながら神の栄光の冠をめざし、高齢になっても祈り続けることができます。皆さん、お互いのために祈り合い、歩いていきましょう。

(要約:編集委員)

「天は神の栄光を語り、大空はみ手のわざを告げる」

[詩編19・2] (金祝カードのみ言葉)



金祝カードの絵

新聖堂建立50周年記念パイプオルガンコンサートが行われました



一場神父の挨拶

オルガニスト 米山麻美さん



7.1 米山さんのお話を聴く子どもたち



オルガンの音色に包まれる聴衆

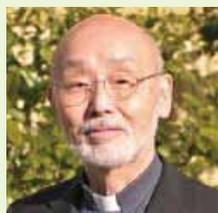
2017年7月2日午後3時から当教会聖堂で建立50周年記念行事のひとつとして出雲カトリック教会のオルガニスト・米山麻美さんの演奏による「パイプオルガンコンサート」が行われました。

初めの挨拶に立った一場神父は「この不安の時代を生きる私たちにとって音楽は、この世界から心を上に向けさせ、祈りに導いてくれます。共に音楽に耳を傾けながら人々と喜びを分かち合い、祈り合いましょう」と話されました。曲目は、「聖母マリアの讃歌」やバッハ作曲「パッサカリア」など約2時間にわたって、米山さんの美しく荘厳な演奏を楽しむことができました。

また前日の土曜学校ではミニコンサートの集いが開催され、子どもたちも音楽の素晴らしさに触れることができました。

コンサートの収益金279,500円は、全額熊本地震復興支援として福岡司教区にお送りしました。皆様のご協力に感謝いたします。(50周年記念行事実行委員会)

国本静三神父からの手紙 「河原町教会信徒の皆さま」2017年7月12日



†主の平和 先日は身に余る厚情とお心遣い、そして過分なお祝いまでいただき、本当にありがとうございました。おかげさまで幸せな記念日を迎えることができました。

この50周年はわが司祭職再出発の日と捉え、その起点としたいと思っています。またこの50年目に教皇フランシスコをいただくことはまことにうれしく、限りない幸せとかみしめています。

それではまずは略儀ながら感謝を表させていただきます、この暑さのなかですが、くれぐれもご健康には留意されますように。皆さまのために祈らせていただきます。感謝まで。 国本静三

洛東ブロック「中高生のつどい&青年のつどい」の分かち合いから

7月号に掲載の「中高生のつどい&青年のつどい」は、テーマが「よろこびを伝えよう」で、菅原友明神父の指導で“右近の生き方”から信仰を考え学びました。その報告の続きとして、参加者の「分かち合い」のまとめが編集部に届きましたので、お読みください。

「分かち合い」の要点:まとめ

(教育部:奥埜さと子)

- ・高山右近をベースに「大切なものは何か」について考えた。「命」より大切なものとして「信仰」を選んだ右近を心から尊敬した。
- ・右近は信仰のために命を捨てたが、生きてこそその信仰だと思うので、私なら棄教して生きて、神の愛を人々に伝えることを選ぶかもしれない。

- ・命より大切なものについて、自分で思いつかなかったが、他の人の意見を聞いて考えることができた。
- ・右近のように、命よりキリストを選ぶことができるだろうかと考えた。
- ・自分を犠牲にして生きていく右近の生き方に感動した。
- ・命より大切なものは「居場所」だと思ふ。右近のように、死ぬまでキリスト教を信じたいと思ふ。
- ・普段考えないことを考えることができた。自分のすべてを捨てて、優先できることを見つかることができたらいいなと思った。いろいろな意見を聞いて、自分の命はなくなっても残るものがあると思ふ。
- ・自分が思いつかないことを聞いたり、共感できたりたくさんの方のことを学ぶことができた。

5.13 土曜学校の遠足に行ってきました!

前日から大雨の予報で、対策を考えながらの出発でした。ところが、万博記念公園の入口ゲートあたりで雨はやみ、「太陽の塔」をバックにみんなで記念撮影。雨に洗われた新緑の道を歩いて「国立民族学博物館」へ。自然文化園でのランチはあきらめ、民博の広い休憩室でお弁当を食べました。マリア様の月、そしてこの日は、「ファティマの聖母」の日でしたので、皆でマリア様に祈りを捧げました。

民博は今年開館40周年を迎え、特別展のテーマは「ビーズ」で、世界中のビーズについての展示は圧巻でした。装飾品だけでなく、ロザリオや数珠など「人間とビーズ」についてのさまざまな関係が興味深く紹介されたものでした。またビーズで花を作る体験コーナーもあり、子どもたちだけでなく保護者、リーダーにとっても、よい勉強になりました。帰り道、満開のバラが美しいバラ園を一周して帰途につきました。「マリア様」「ロザリオ」「ばら」が、偶然にも“ビーズ”でつながった恵みの一日でした。

(教育部:奥埜さと子)



雨上がりの
万博公園で



ビーズ作りを体験しました

[8月の聖人暦から]

聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 (8月14日)

コルベ神父は1894年ポーランドの織物職人の息子として生まれた。13歳でフランシスコ修道会神学校に入り、その後7年間ローマに留学し哲学と神学を学ぶ。そこで知り合った仲間と「無原罪の聖母の騎士信心会」を設立。25歳で司祭叙階の後、母国に帰り、3年間クラクフの大神学校の教授を務めた。1927年には「無原罪の聖母の騎士」小冊子を発行し宣教を開始。東方宣教をめざして、1930年36歳の時にゼノ修道士ら5人と共に長崎に上陸。聖母の騎士修道院を開き、月刊誌「聖母の騎士」を発行、また大浦神学校では哲学を教えた。1937年母国の修道院長に任ぜられ日本を去る。第二次世界大戦下、ナチスによりアウシュビッツ強制収容所に送られる(囚人番号は「16670」)。そこで妻子ある士官の身代わりとなり、他9人と入れられた餓死牢でも神に祈り、歌った。苦しみの中で皆を励まし続け、さながら聖堂となった「死の地下室」で仲間を送り、最後は自ら差し出した手に注射され永遠の眠りについた。47歳だった。1982年10月10日にヨハネ・パウロ二世により列聖された。(編集委員:「聖コルベ館」HP参考)



河原町教会7月2日評議会議事録要約

司祭団から=①新聖堂建立50周年記念ミサと感謝ミサ、祝賀会への協力に感謝します。②モンロイ神父不在中の金曜日朝6:30ミサは村上透磨神父担当③8/6平和祈願ミサ(山科教会)是一场神父司式④9/3ブロック大会(伏見教会)には多数参加ください。⑤司祭1名不在の間、司祭2名で各小教区主日ミサは必ず行う。

新聖堂50周年記念ミサ・感謝ミサ=明治村旧聖堂記念ミサのバス利用者は160名。三重からも多くの参加者があつた。翌日の感謝ミサと祝賀会も無事終了

各部会報告=(1)典礼部=①6/17記念ミサと6/18感謝ミサへのご協力に感謝②6/24のブロック典礼研修会終了③7/1子どものためのパイプオルガンミニコンサートが開催④本日パイプオルガンコンサート開催(現時点チケット販売数210枚)⑤7/9国本静三神父金祝ミサ(2)財務部=①上半期の収支決算報告が行われた。②教会財政黒字化をめざし信徒全体の必要支出への理解を得る方策を検討(3)教育部=**①土曜学校**:①6/24錬成会募集締め切り。参加者は小学生19名。視聴覚教材準備。サブリーダーとサポーター募集②7/8子どもとささげるミサと終業式③7/23錬成会保護者説明会開催④9/2子どもとささげるミサと始業式 **②中高生会**:①6/25コーヒーショップを開催②7/9で1学期終了③8/5~7教区中学生広島巡礼4名参加予定④8/21~24教区高校生夏の体験学習「函館での黙想会」参加者募集中 **③信徒養成**:待降節黙想会12/2(講師:菅原神父) **④ブロック合同教育部会**:8/20にブロック大会の準備検討の予定 **⑤教区教会学校教師研修会**:8/26「教会学校運営について」(指導:大塚司教)土曜学校・中高生会リーダーの参加募集中 **⑥キリシタン研究会**:①7/17大和八木キリシタン研究会に参加予定②8/27南蛮寺記念ミサ予定(司式:カマチョ神父) **⑦ザビエル訪れ会**:①6/28独居の高齢信徒訪問3件実施②近況不明な信徒の訪問を検討中(4)施設管理部=①建立50周年行事の地下部屋整備を実施②6/22消火器12本取り替えと庭の剪定実施(5)広報部=「6・7月特別号」への寄稿、写真・資料提供に感謝します。

行事予定=4ページ行事予定欄に記載

協議事項=(1)洛東ブロック会議[7/22・14:00河原町教会]①ブロック年間行事:**①**求道者・地域の人々との交流=教会のしおり作成。巡礼者対応を検討**②**「ラウダート・シ」と「高山右近」の分かち合い **③**ブロック大会=9/3に伏見教会で開催予定 **④**平和旬間行事=8/6洛東ブロック平和祈願ミサ14:00(山科教会) **(2)新聖堂建立50周年記念行事**:①聖堂モニター設置・ヴァリオンホールの防音対策・聖堂椅子クッション新調の検討②地下各部屋整理 **その他**=①7/9「男性の集まり」開催準備会の開催②ミサ後の「お知らせ」のアナウンス箇所の選択基準を明確化する。③「都の聖母小聖堂」に献金箱を設置する案が出された。

◇ 2017年8月・9月の行事予定 ◇
(9月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行事予定
8	5	土	～7日(月) 教区中学生広島平和巡礼
	6	日	主の変容 評議会8月例会 日本カトリック平和旬間15日まで 洛東ブロック平和祈願ミサ 14:00 (山科教会)
	8	火	～10日(木) 土曜学校錬成会
	15	火	聖母の被昇天 ミサ7:00・10:30
	26	土	教区教会学校教師研修会 10:00
	27	日	田中司教霊名(ライムンド)のお祝い 10:30
9	2	土	小教区評議会役員交流会 10:00
	3	日	洛東ブロック大会(伏見教会) 11:00
	10	日	評議会9月例会 10:30ミサ後
	17	日	敬老感謝ミサ10:30・懇親会(ヴィリオンホール)
	24	日	中高生会コーヒーショップ10:30ミサ後(1F集会室)

洛東ブロック平和祈願ミサのお知らせ

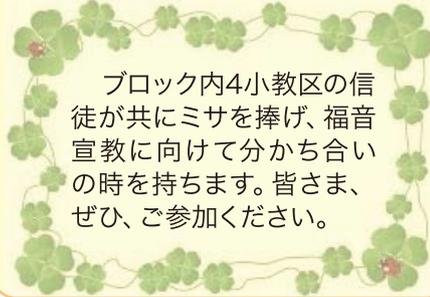
- ◇ 8月6日(日) 14:00
- ◇ 山科教会
- ◇ 司式:一場修神父



洛東ブロックの信徒が山科教会に集い、カトリック平和旬間にあたり平和を祈るミサをささげます。ぜひ、山科教会に集いましょう。

洛東ブロック大会のお知らせ

- ◇ 9月3日(日) 11:00
- ◇ 伏見教会
- ◇ 司式:大塚喜直司教



ブロック内4小教区の信徒が共にミサを捧げ、福音宣教に向けて分かち合いの時を持ちます。皆さま、ぜひ、ご参加ください。

洛東ブロック長期計画

(2016年4月1日～2021年3月31日)

「洛東ブロックは2026年の京都南部地区小教区統合を見据え、2016年4月から5年間各小教区固有の歩みを尊重しながら、ブロック共同体づくりを進めていく」 **そのために**

1. ブロック全体に開かれた分かち合いの場を設け、小教区間のつながりを深めていく。
2. 各小教区特有の学び、祈り、活動(地域との交わり、国際協力など)、交流行事をブロック共同体の福音宣教活動として共有する。
3. ブロック内小教区の多様性を活かしながら、ブロック全体として取り組める福音宣教の可能性を模索する。

聖人の祈りから《聖テレサ・ベネディクタ(1891～1942)》

「三つの恵みを」

主よ、私をあなたのもとに導くものなら
何もかもお与えください。

主よ、私をあなたのもとから遠ざけるものなら
何もかも取り去ってください。

主よ、私を私自身から引き離し ことごとく
あなたのものとしてください。



(ユダヤ人哲学者。
カルメル会修道女で、
多くの著書を残す。
アウシュビッツで殉教)

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室)

火曜日 10:00 モンロイ神父(7～9月休会)

水曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父

木曜日 19:00 (祝休) 一場 修 神父

金曜日 10:30 (祝休) 一場 修 神父

19:15 村上 透磨 神父

金曜日 17:30(洗礼準備講座)菅原 友明神父

※ご希望の方は教会事務室までご連絡ください

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1土曜日 19:30～20:30

菅原 友明神父

【山科教会】未定

【伏見教会】毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場 修 神父

【桃山教会】毎火曜日 15:00 菅原 友明神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室/毎月1回水曜日)

大塚 乾隆神父「典礼を学ぶ」

9月 6日(水) 10:30～11:50

10月 4日(水) 10:30～11:50

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室/毎月1回木曜日)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

9月28日(木) 14:00

10月19日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30～10:15

※どなたでもお気軽にご参加ください。